

愛知医科大学病院

病院長名 天野 哲也

所在地 〒480-1195

愛知県長久手市岩作雁又1番地1

交通案内 地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分

東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

プログラム名：愛知医科大学病院総合診療専門医プログラム

【研修目標】

臓器に捉われることなく、幅広い知識と総合的な診療能力を有し、心理面や社会面も含め、患者さんのあらゆる健康問題に対応できる能力を養う。

【研修期間】 3年

【研修スケジュール】

総合診療専門医研修は、通常、卒後3年目からの専門研修3年間で構成しています。1年目修了時には、患者情報を明確に指導医や他職種に報告し、健康問題を迅速かつ的確に処理することを目指します。2年目修了時には、診断や治療プロセスも標準的で患者を取り巻く背景も安定しているような比較的単純な健康問題に対して的確なマネジメントを提供することを目指します。3年目修了時には、多疾患合併で診断や治療プロセスに困難さがあつたり、患者を取り巻く背景も疾患に影響したりしているような複雑な健康問題に対して的確なマネジメントを提供することができ、かつ指導できることを目指します。3年間で、内科のみならず救急科、小児科、また地域医療等についても研鑽を積み、最終的に「総合診療専門医」資格を取得します。

【研修スケジュール例】

専門研修1年目：愛知医科大学病院（総合診療II）

専門研修2年目：愛知医科大学病院（救急科、小児科）、〇〇病院（内科）

専門研修3年目：△△病院（総合診療I、内科）、□□クリニック（総合診療I）

（詳しくは、愛知医科大学病院ホームページ内、専門研修プログラム概要を参照して下さい）



▲プライマリケアセンター



□ 主な連携施設

長野県立阿南病院

社会医療法人厚生会 多治見市民病院

愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院

公益財団法人 豊田地域医療センター

中津川市国民健康保険 坂下診療所

公益社団法人地域医療振興協会 あま市民病院、 ゆりクリニック

□ メッセージ

指導医（教授 前川正人、准教授 宇佐美 潤）

愛知医科大学病院は、900床の急性期特定機能病院ですが、地域の住民の方々にとっても利用しやすい市民病院的な性格も持っています。2014年5月の新病院開院とともにプライマリケアセンター（PCC）が開設されました。ここでは、各専門外来宛ての紹介状を持たない、基本的に全ての内科系初診患者さんの診療を行っています。総合診療科は、このPCCをホームグラウンドにして毎日外来診療を行っています。もちろん必要に応じ入院診療も行います。外来、病棟などで、経験豊富な医師と共に診療することで、総合的な診療能力が高まります。カンファレンスは、毎朝および毎日午後の外来振り返り、毎週の入院症例検討会等を実施、上級医からの多面的フィードバックが得られ成長出来ます。我々のプログラムで研修し、「総合診療専門医」資格を取得しましょう。専門医取得後の進路は、当科スタッフ、他施設常勤医、開業、研究者等様々ですが、親身に相談に乗り希望に添うようにしています。私たちのメンバーは、部長以下、スタッフドクター3名、専修医1名、内科専修医約5名（週1回初診外来担当）、初期研修医約5名、非常勤医師4名です。私たちは、やる気のあるあなたの応募を待っています！ 愛知医科大学病院と一緒に、日々、勉強し成長していきましょう！

□ 募集要項

・採用予定人数	2人
・給与／月額	月額：436,644円（免許取得後3年目医師の平均、R6年度実績より算出、別途賞与支給あり） ※勤務状況により実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数／月	2回
・当直料／回	（救急外来）宿直手当 約39,000円 （病棟）宿直手当 20,000円
・その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与（年2回）、社会保険等（日本私立学校振興・共済事業団（健保・年金））、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
・応募連絡先	担当者 宇佐美 潤 （プライマリケアセンター部長・准教授） 電話番号 0561-62-3311（代表） Eメール usami.jun.756@mail.aichi-med-u.ac.jp